

令和6年度 第9回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和6年12月25日（水）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・先週から役場の太陽光パネルで発電した電気を役場で使用し始めており、いつもパワコンの前を通過してどのくらい発電しているか見ているが、今日は3.4kWだった。それが4つあるので4倍すると13.6kW程になる。今までに620kWh程の電気を使っているので、kWhあたり20数円とすれば、1万2千円位になったかなと今計算をしていた。これが順調にいき、4月から役場で月に20万から30万円位の電気料が(株)いくさかてらすに入れば、経営も順調に進んでいくのではないかと考えている。
- ・昨日は今年度第2回の外部評価委員会があり、副村長と事務局で対応していただいた。今日事務局からその報告があるが、概ね良好との意見もいただきながら、ご指摘もいただいた。
- ・先月11月24日には、PPAについてE-konzaiの渡邊さんから講演をしていただき太陽光発電について詳しく説明していただいたので、村民の皆さんにもお知らせをするように進めている。
- ・特に令和6年度は大きな事業をいくつも行っており、ここにいる皆さんをはじめそれぞれの皆さんが一生懸命取り組んだおかげで、順調にまた着実に進んでいると思っている。新しい事業であるため環境省との調整が必要で、今年4月からの数カ月を振り返ると、中々順調にいく時もあればいけない時もあったという様なところであるが、まだまだ始まったばかりなので来年もしっかり取り組んでいきたい。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げる。

【協議事項】

○令和6年12月24日（火）に行った第2回外部評価委員会の開催報告及び令和6年度脱炭素事業の進捗状況について

- ・PPA方式による民家、民間施設、公共施設、遊休地等へのPV（太陽光パネル）、蓄電池の設置
- ・民家への調光型LED、高効率給湯器、高効率空調機等の導入補助
- ・民家へのペレットストーブ、薪ストーブ導入補助

- ・ 公共施設への LED、省エネ機器設置に伴う調査設計
- ・ デマンドレスポンス需要管理システム
- ・ 公共施設へのペレットストーブ導入
- ・ 古民家脱炭素リノベーション
- ・ 公共施設等への EV 充電器、EV 充放電器導入
- ・ 公用車を順次 EV 車両への転換及び土日祝日にカーシェアリング
- ・ 村営バスを順次 EV 車両へ転換
- ・ やまなみ荘のボイラーを木質バイオマスボイラーへ転換
- ・ 村営集合住宅（ZEH 化）
- ・ 執行事務費
- ・ デマンドレスポンス受給管理システム
- ・ 生坂ダム小水力発電施設設計
- ・ 自営線マイクログリッド設計

上記の進捗状況の説明及び第 2 回外部評価委員会の内容について説明。

省エネ家電補助等に関する CO2 削減の環境省への報告については、年度末の審査会で報告していくと説明。またマイクログリッド内の公共施設の PPA 使用料金を示して欲しいという意見があった。

○第 1 回脱炭素に関する勉強会 開催報告

- ・ 11 月 24 日に行った第 1 回脱炭素事業に関する勉強会時の資料及びその時に行ったアンケート内容について説明。

○その他

- ・ PPA 事業の予定工程表、太陽光パネル及び蓄電池の設置状況について説明。

【意見・質問】

- ・ 1 年を通しての発電量の計算方法について質問があり、気象庁のデータ等を利用して年間の発電量を算定していると説明。
- ・ (株)いくさかてらすと契約者の必要な発電量の算定はいつ頃出るか質問があ

り、省エネ家電の状況や契約状況等を踏まえて３年後くらいには把握できると思うと説明。

- ・その他、冬期間の太陽光パネルの除雪対応を検討する必要があること、効果促進事業の内容について情報発信していく方法を検討する必要があるといった意見があった。
- ・省エネ家電、木質バイオマスストーブ導入補助金の上限設定について、次回の会議で検討するように意見があった。